

# LM・米ドル毎月分配型ファンド

追加型投信／海外／債券

## 交付運用報告書

第197期(決算日2018年6月18日) 第198期(決算日2018年7月18日) 第199期(決算日2018年8月20日)  
第200期(決算日2018年9月18日) 第201期(決算日2018年10月18日) 第202期(決算日2018年11月19日)

作成対象期間(2018年5月19日～2018年11月19日)

第202期末(2018年11月19日)	
基準価額	7,311円
純資産総額	12,191百万円
第197期～第202期	
騰落率	2.3%
分配金(税込み)合計	42円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は四捨五入して表示しております。

- 交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。
- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。
- 運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
ホームページの「ファンド情報・基準価額一覧」等から当ファンドを選択することにより、運用報告書(全体版)を閲覧及びダウンロードすることができます。

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「LM・米ドル毎月分配型ファンド」は、2018年11月19日に第202期の決算を行いました。

当ファンドは、米ドル建債券への投資で得られるインカムゲインにより、米ドル短期金利水準の分配を毎月行い、米ドル原資産元本の安定した運用成果を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

レグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社

東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

お問い合わせ先

TEL 03-5219-5947

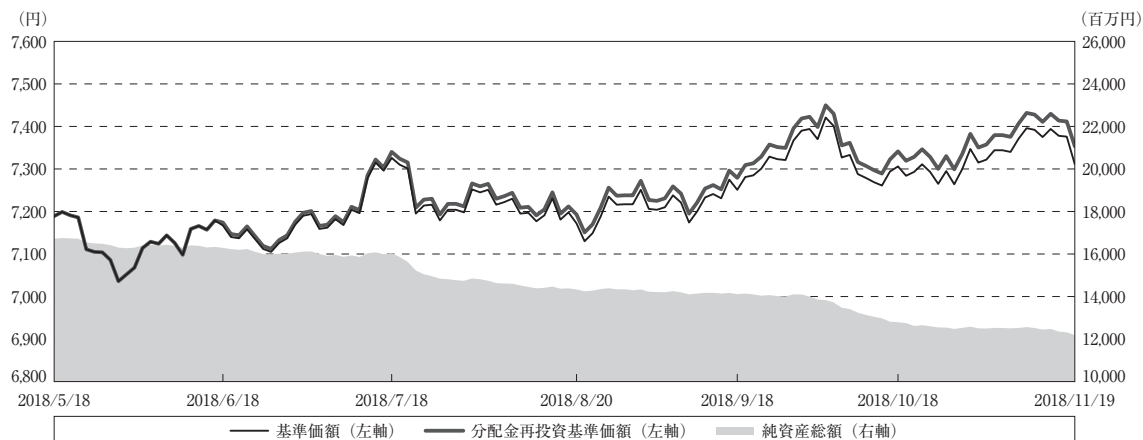
(営業日の9:00～17:00)

<http://www.leggmason.co.jp>

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2018年5月19日～2018年11月19日)



第197期首：7,189円

第202期末：7,311円 (既払分配金(税込み):42円)

騰落率：2.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2018年5月18日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

## ○基準価額の主な変動要因

当作成期末(2018年11月19日)のLM・米ドル毎月分配型ファンド(以下、当ファンド)の基準価額は7,311円(分配金控除後)となりました。当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス2.3%(分配金再投資ベース)、基準価額は164円(分配金込み)上昇しました。

公社債利金を手堅く確保しました。為替損益についても、米ドル・円相場が米ドル高・円安となったことから、プラスとなりました。公社債損益による基準価額への影響は、大きくありませんでした。

## 1万口当たりの費用明細

(2018年5月19日～2018年11月19日)

項 目	第197期～第202期		項目の概要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬	36	0.493	(a) 信託報酬 = 作成期間の平均基準価額 × 信託報酬率
(投信会社)	(16)	(0.224)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(18)	(0.246)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.022)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	2	0.023	(b) その他費用 = 作成期間のその他費用 ÷ 作成期間の平均受益 権口数
(保管費用)	( 1)	(0.015)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保 管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷等費用)	( 0)	(0.004)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付 および届出に係る費用
合 計	38	0.516	
作成期間の平均基準価額は、7,223円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

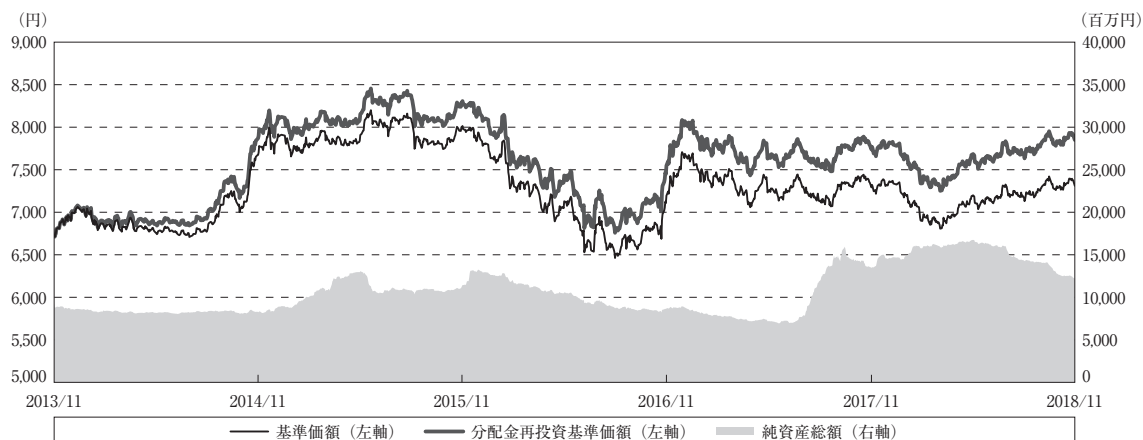
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2013年11月18日～2018年11月19日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2013年11月18日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2013年11月18日 決算日	2014年11月18日 決算日	2015年11月18日 決算日	2016年11月18日 決算日	2017年11月20日 決算日	2018年11月19日 決算日
基準価額 (円)	6,740	7,673	8,002	7,195	7,292	7,311
期間分配金合計(税込み) (円)	-	174	84	84	84	84
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	-	16.8	5.4	△ 9.0	2.5	1.4
純資産総額 (百万円)	9,291	8,245	11,320	8,687	13,465	12,191

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

## 投資環境

(2018年5月19日～2018年11月19日)

当作成期の米国債券市場は、短期債利回りが上昇（価格は下落）する一方、中期債利回りは若干低下（価格は上昇）しました。期の前半は、イタリアやスペインの政局不透明感を背景にドイツの国債利回りが低下した影響で、米国国債利回りも低下しました。その後、米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げペース加速の可能性が意識されたことから、利回りは上昇しましたが、米中の貿易摩擦に対する警戒感から株式相場が下落すると、再び低下しました。期の半ばは、日銀による金融緩和策修正の思惑から日本の国債利回りが上昇した影響で、米国国債利回りも上昇しました。その後、トルコ情勢の悪化を受けて新興国市場全体に対する先行き懸念が広がったことから、利回りは低下しましたが、北米自由貿易協定（NAFTA）再交渉で米国とメキシコが大筋合意し、貿易摩擦への懸念が後退すると、再び上昇しました。期の後半は、FRBによる利上げ継続が意識されたことなどから、利回りは上昇しました。しかしその後は、株式相場が急落したことなどから、利回りは低下しました。

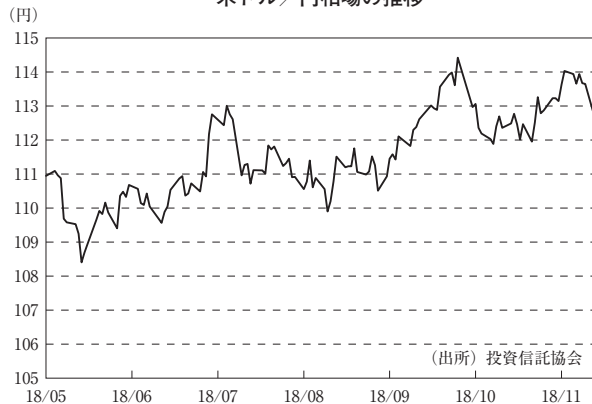
社債セクターについては、軟調となりました。期の後半に株式相場が大きく下落したことなどから、社債スプレッド（国債に対する上乗せ金利）は拡大する展開となりました。モーゲージ証券（MBS）セクターについては、米国国債利回りの急速な上昇を受けて軟調となり、スプレッドは期の後半にかけて拡大しました。資産担保証券（ABS）セクターについても、スプレッドは前作成期末に比べ拡大しました。

当作成期の米ドル・円相場は、米ドル高・円安となりました。期の前半は、イタリアやスペインの政局不透明感を背景に投資家のリスク回避姿勢が意識されたことなどから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。しかしその後は、FRBによる利上げペース加速の可能性が意識されたことなどから、米ドルは対円で上昇しました。期の半ばは、日銀による金融緩和策修正の思惑が浮上したことから、米ドル売り・円買いが優勢となりました。しかしその後は、NAFTA再交渉で米国とメキシコが大筋合意したことなどを受けて、米ドル買い・円売りが優勢となりました。期の後半は、FRBによる利上げ継続が意識されたことや、米国国債利回りの上昇を受けて日米金利差が拡大したことなどから、米ドル買い・円売りが強まりました。その後は、急速な米ドル高・円安の反動から、利益確定の米ドル売り・円買いが見られる場面もありましたが、米ドルは対円で底堅く推移しました。

米国10年国債利回りの推移



米ドル／円相場の推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2018年5月19日～2018年11月19日)

当ファンドは、主に「LM・米国短期投資適格債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主として米国の国債、政府機関債、事業債、モーゲージ担保債務証券等を含むモーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行い、安定した収益の確保を目指して運用に努めてまいりました。主たる投資対象である個別債券は、原則としてS&P、ムーディーズ、フィッチ・レーティングスのうち1社以上の格付機関からBBB-/Baa3格以上の格付けを付与されているものとし、ポートフォリオの平均格付けはA-/A3格以上を維持します。当作成期の運用においては、引き続き高格付債券への投資比率を高位に保ちました。

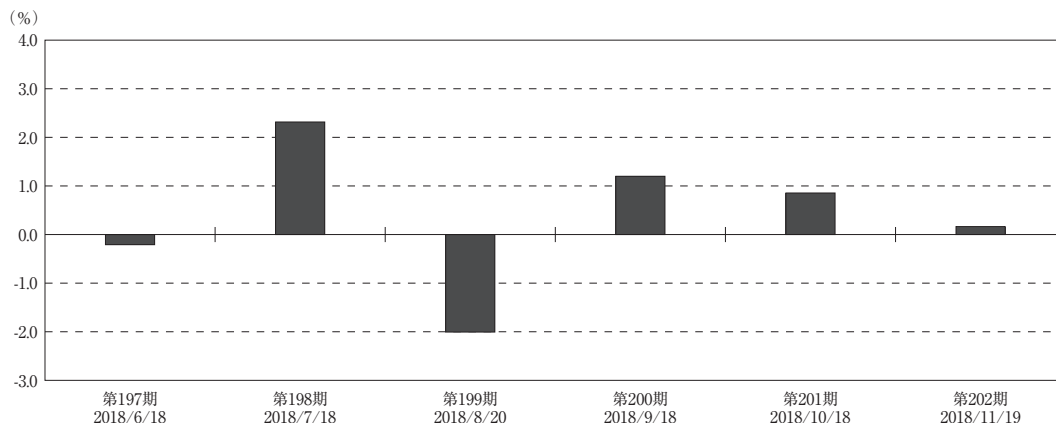
## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2018年5月19日～2018年11月19日)

市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

以下のグラフは、作成期間の当ファンドの期別基準価額騰落率です。

基準価額（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

## 分配金

(2018年5月19日～2018年11月19日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

### ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり・税込み)

項 目	第197期	第198期	第199期	第200期	第201期	第202期
	2018年5月19日～ 2018年6月18日	2018年6月19日～ 2018年7月18日	2018年7月19日～ 2018年8月20日	2018年8月21日～ 2018年9月18日	2018年9月19日～ 2018年10月18日	2018年10月19日～ 2018年11月19日
当期分配金 (対基準価額比率)	7 0.098%	7 0.095%	7 0.098%	7 0.096%	7 0.096%	7 0.096%
当期の収益	7	7	7	7	7	7
当期の収益以外	-	-	-	-	-	-
翌期繰越分配対象額	434	440	443	450	457	462

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

当ファンドは、主として米国の国債、政府機関債、事業債、モーゲージ担保債務証券等を含むモーゲージ証券、資産担保証券等を中心に投資を行うファンドです。今後も引き続き、組入債券の信用リスク、金利リスク等に配慮しつつ銘柄を厳選し、運用に注力していく所存です。

## お知らせ

## ＜主な約款変更に関するお知らせ＞

購入時手数料を「1%を上限として販売会社が定める料率」から「販売会社が独自に定める料率」に変更しました。  
(変更日：2018年8月17日)

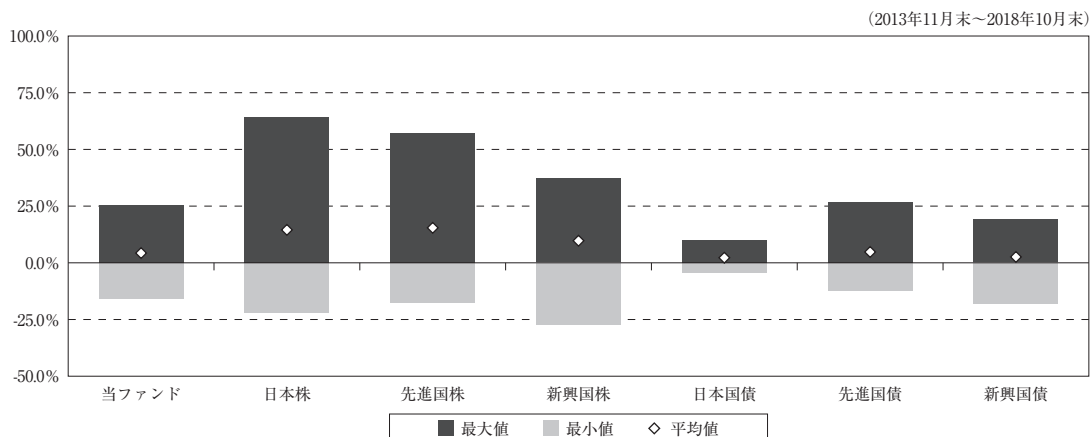
## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	主として米ドル建債券に投資し、米ドル短期金利を上回るインカムゲインを獲得することにより、米ドル短期金利水準の分配を毎月行い、米ドル原資産元本の安定した運用成果を目指します。	
主要投資対象	当ファンド	「LM・米国短期投資適格債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	LM・米国短期投資適格債マザーファンド	主として米ドル建ての米国公社債を主要投資対象とします。
運用方法	当ファンド	株式（新株引受権証券等を含みます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以内とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	LM・米国短期投資適格債マザーファンド	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	決算日（原則として毎月18日、休業日の場合は翌営業日）に、収益配分方針に基づいて分配を行います。	



## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	25.4	64.2	57.1	37.2	10.1	26.6	19.2
最小値	△ 15.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.3	△ 12.3	△ 18.1
平均値	4.3	14.5	15.4	9.7	2.2	4.8	2.6

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2013年11月から2018年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## \* 各資産クラスの騰落率を計算するために使用した指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み、ヘッジなし・円ベース)

日本国債：FTSE 日本国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

新興国債：FTSE 新興国市場国債インデックス (ヘッジなし・円ベース)

(注) 海外の指数は、各資産クラスに為替ヘッジなしによる投資を行うことを想定して、円ベースの指数を採用しております。

(注) 上記各指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はその指数を算出、公表しているそれぞれの主体に帰属します (TOPIX: 株式会社東京証券取引所、MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックス: MSCI Inc、FTSE 日本国債インデックス、FTSE 世界国債インデックス、FTSE 新興国市場国債インデックス: FTSE Fixed Income LLC)。また、それぞれの主体は当ファンドの運用に関して一切の責任を負うものではありません。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2018年11月19日現在)

## ○組入上位ファンド

銘柄名	第202期末
LM・米国短期投資適格債マザーファンド	100.2%
組入銘柄数	1銘柄

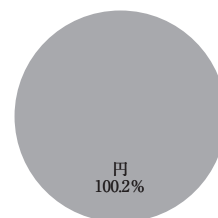
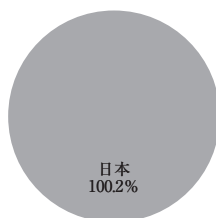
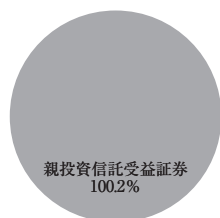
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

## ○資産別配分

## ○国別配分

## ○通貨別配分



(注) 比率は組入資産（現金等を除く）の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産（現金等を除く）を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

## 純資産等

項目	第197期末	第198期末	第199期末	第200期末	第201期末	第202期末
	2018年6月18日	2018年7月18日	2018年8月20日	2018年9月18日	2018年10月18日	2018年11月19日
純資産総額	16,290,461,647円	16,037,560,231円	14,331,441,648円	14,112,917,424円	12,791,618,175円	12,191,745,429円
受益権総口数	22,730,470,522口	21,892,057,512口	19,983,578,691口	19,464,278,143口	17,508,865,444口	16,675,087,358口
1万口当たり基準価額	7,167円	7,326円	7,172円	7,251円	7,306円	7,311円

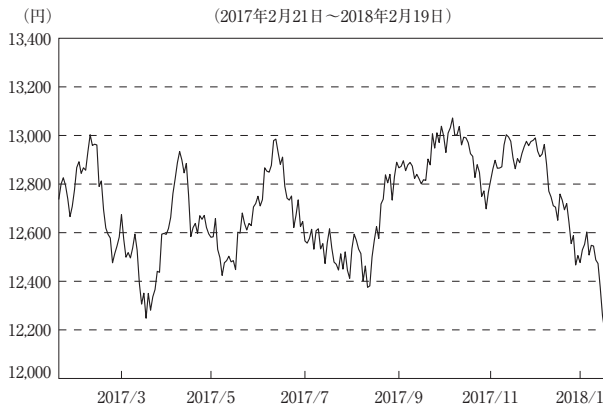
\* 当作成期間（第197期～第202期）中における追加設定元本額は356,674,654円、同解約元本額は6,942,087,340円です。

## 組入上位ファンドの概要

## L M・米国短期投資適格債マザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2017年2月21日～2018年2月19日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年2月21日～2018年2月19日)

項目	当期	
	金額	比率
	円	%
(a) その他費用 ( 保管費用 )	4 (4)	0.031 (0.031)
合計	4	0.031

期中の平均基準価額は、12,704円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年2月19日現在)

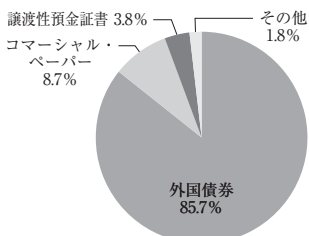
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 US TREASURY BILL 0% 2018/7/19	国債証券	米ドル	アメリカ	8.0
2 US TREASURY NOTE 1.125% 2019/2/28	国債証券	米ドル	アメリカ	6.6
3 US TREASURY BILL 0% 2018/8/16	国債証券	米ドル	アメリカ	3.6
4 TREASURY BILL 0% 2018/6/21	国債証券	米ドル	アメリカ	3.4
5 ABN AMRO FUNDING USA	コマーシャル・ペーパー	米ドル	アメリカ	2.8
6 LLOYDS TSB BANK PLC	コマーシャル・ペーパー	米ドル	アメリカ	2.6
7 US TREASURY BILL 0% 2018/4/19	国債証券	米ドル	アメリカ	2.5
8 US TREASURY BILL 0% 2018/3/29	国債証券	米ドル	アメリカ	2.4
9 US TREASURY BILL 0% 2018/4/26	国債証券	米ドル	アメリカ	2.2
10 US TREASURY BILL 0% 2018/3/22	国債証券	米ドル	アメリカ	2.1
組入銘柄数		150銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

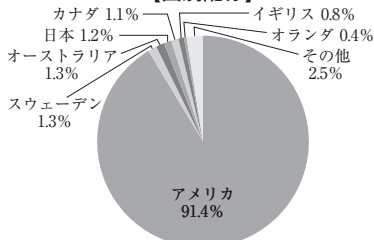
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

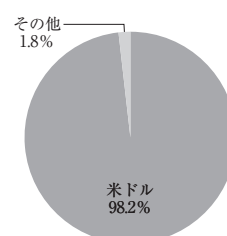
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は組入資産(現金等を除く)の当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 通貨別配分は組入資産(現金等を除く)を通貨で区分したものであり、通貨変動に伴うファンドの価格変動リスクと異なることがあります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。